

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	1学年・E科
教科書	副教材						

学習目標	○森林・林業及びバイオテクノロジーに関する分野における体験的な学習を通して総合的な知識と技術を習得し、各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成します。
学習方法	○森林の管理や植物の培養などの実習を通して、環境保全や植物培養について体験的に学習して理解します。 ○地域産業の課題を探りながら、生物工学や森林についての基礎的な知識と技術を習得し、2年次からの専攻班選択に向けての理解を深めます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	0%	100%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	森林・林業やバイオテクノロジーを総合的に捉え、体系的・統計的に理解するとともに関連する技術を身につけることができる。	前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
				思考・判断・表現	30%	0%	30%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
				思考・判断・表現	30%	0%	30%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
	b 思考・判断・表現	森林・林業やバイオテクノロジーを総合的に捉え、体系的・統計的に理解するとともに、これらに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、課題を適切に判断することができる。	後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
				思考・判断・表現	30%	0%	30%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
			後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
				思考・判断・表現	30%	0%	30%
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%
c 主体的に学習に取り組む態度	森林・林業やバイオテクノロジーに興味・関心を持ち、課題の探求に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて解決しようとする態度を身につけている。	後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
			思考・判断・表現	30%	0%	30%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	
		後期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%	
			思考・判断・表現	30%	0%	30%	
			主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	○意見発表	・学科内意見発表会にむけて、農業や環境に関する意見文を作成し、発表します。 ・校内意見発表会に参加し、各学科の代表生徒による意見文の発表を聞き、理解を深めます。	○	○	○	a: 森林・林業と環境に関する地域産業の現状について理解している。 b: 地域産業に関する思考を深め、産業振興のためにすべきことを判断し、実践する意志を表現できる。 c: 森林・林業と環境に関する産業の課題について興味関心を持つことができる。	・意見発表 ・意見発表審査 ・実習手帳 ・実習態度
	○森林・林業に関する基本的な実習	・森林・林業に関する基礎的な実習をとおして森林の大切さを理解します。 ・のこぎりや草刈り鎌をはじめ林業に関するさまざまな道具の扱い方を学びます。	○	○	○		
前期末	○バイオテクノロジーに関する基本的な実習	・植物の構造や機能について理解します。 ・組織培養による増殖について基礎的な知識を学びます。 ・実験用具の基本的な取り扱い方法について理解します。	○	○	○	a: 植物の生態や環境に関する地域の現状について理解している。 b: 植物の組織培養に関する思考を深め、地域環境の保全のためにすべきことを判断し、実践する意志を表現できる。 c: 植物の生態や環境に関する地域の課題について興味関心を持つことができる。	・実習レポート ・実習手帳 ・実習態度
後期中間	○森林・林業、及びバイオテクノロジーに関する基本的な実習	・森林・林業については樹木を育てるための技術や知識について学習します。 ・バイオテクノロジーについては最も簡単な植物の培養実験を行い、技術を身につけます。	○	○	○	a: 森林・林業及びバイオテクノロジーに関する地域の現状について理解している。 b: 地域産業に関する思考を深め、産業振興のためにすべきことを判断し、実践する意志を表現できる。 c: 森林・林業とバイオテクノロジーに関する地域の課題について興味関心を持つことができる。	・授業ノート ・小テスト ・実習態度
後期末	○環境科学科専攻班のローテーション実習	・研究班の実習内容について体験的に学習し、2年次以降のコース選択に向けて理解を深めます。 ・自然生態系と地球環境について学習し、環境と調和した農業のあるべき姿をたを理解します。	○	○	○	a: 森林・林業と植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、環境保全に対する知識も身につける。 b: 自然環境に関する思考を深め、環境保全のためにすべきことを判断し、実践する意志を表現できる。 c: 森林・林業と植物の生育特性に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身につけている。	・授業ノート ・実習態度 ・プロジェクト発表
	①生物資源班		○	○	○		
	②森林環境班		○	○	○		
	○プロジェクト発表会	・学科内プロジェクト発表会に参加し、各研究班の学習内容について理解を深めます。 ・校内プロジェクト発表会に参加し、各学科の学習内容について理解を深めます。	○	○	○		